

補助事業番号 19-53

補助事業名 平成 19 年度近代的自転車競技用機器の普及等補助事業

補助事業者名 財団法人日本自転車普及協会

1. 補助事業の概要

(1)事業の目的

地方公共団体が実施する自転車競技（競輪）事業の健全化を図るために運営の近代化、合理化が喫緊の課題となっている。そこで、特に競技運営の効率化と集客力を強化するための顧客サービスの向上に重要な役割を果たす業務関連用関係機器等の導入促進事業を実施するとともに、運営の外部委託化を促進することにより、運営の近代化、合理化を図りつつ、自転車競技の普及・振興並びに自転車利用の拡大に資することにより、自転車等の機械工業の振興を図ることを目的とする。

(2)具体的な実施内容・成果

ア. 自転車競技用機器の近代化推進

本補助事業においては、地方自治体が自転車競技（競輪）事業を実施するにあたり、顧客サービス向上などのため、本会の定めた「自転車競技用関係機器リース実施要綱」及び「自転車競技用関係機器リース助成制度内規」に基づいてリース契約し、自転車競技場や関連施設における業務用関連機器の導入促進を図ることにより近代化を推進している。

平成 19 年度においては、場外車券売場を新たに開設した武雄市、小松島市及び平成 13 年～平成 18 年に投票業務用関係機器導入促進のためにリース契約を締結し、リース料の軽減措置を講じた地方公共団体等に対して、リース料の軽減措置を継続して実施した。

イ. 自転車競技近代化促進事業

ア) 自転車競技の近代化を促進するため、平成 20 年 1 月より競走数（12 レース制）の増加及び自転車競技選手のトップレベルである最高位クラス制度を設置することに伴い、ポスター・リーフレットの作成、新聞広告の掲載や専用ユニフォームの制作とオフィシャルウェブサイトの制作を行い、広報 PR を実施した。

イ)、競技用自転車の安全基準策定については、検査用の自転車フレームを作成し、競技用自転車部品の破壊検査及び非破壊検査を行うと共に、競技用自転車部品等の更なる品質向上のため、認定部品が一目で判るよう写真を添えて整理したカタログを作成した。

ウ) 平成 20 年に北京でオリンピック（8 月）及びパラリンピック（9 月）が開催されることから、6 月 26 日に東京ドームにおいて両大会の日本代表選手等が出場する「サイクルフェスタ'08」を開催し、自転車競技日本代表選手（北京オリンピック：ケイリン種目で日本人初の銅メダルを獲得した永井清史選手を含むトラック競技代表男女 8 名・ロードレース競技代表男子 2 名・MTB 競技代表女子 1 名／パラリンピック：1 km タイムトライアル（CP4 クラス）種目で金メダルを獲得した石井雅史選手や同種目（LC3 クラス）で銀メダルを獲得した藤田征樹選手を含むトラック競

技代表男子5名)並びに、北京五輪から正式種目となったBMX競技の日本のトップ選手を紹介すると共に、五輪種目となっているケイリンや自転車競技の国際性・娯楽性や自転車文化の魅力をアピールすると共に、自転車競技の新規ファンを創出するために、日本代表選手や学生選抜選手によるレースやサイクルフィギュアの世界選手権王者によるデモンストレーション等を行い自転車競技のみならずオリンピック出場経験を有する各種スポーツ分野の著名人を始めとし、各界からの招待者を含めて27,918名の来場者を得ると共に、BS日本テレビで実況中継を実施した。

[成果]

自転車競技用機器の近代化推進事業によるリース料の軽減措置により、これら各地方公共団体への新規設備の導入及び外部委託化の促進がなされ、全国レベルの顧客の拡大、運営の合理化を図る呼び水となり、自転車競技である競輪事業の活性化に資することができた。

また、自転車競技近代化促進事業による広報活動等により、自転車競技の認知拡充と競輪事業の活性化に資することができた。

2. 予想される事業実施効果

本補助事業の実施により、自転車競技場の機械化が推進され、今後における自転車競技運営の近代化、合理化に大いに貢献されるものと確信する。

3. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：財団法人日本自転車普及協会(ザイダンホウジンニホンジテンシヤフキョウキョウカイ)

住 所：107-0052

東京都港区赤坂1-9-3

代 表 者 名：会長 阿部毅一郎(アベ キイチロウ)

担当部署：事業第二部

担当者名：事業第二部長 竹内 紀文(タケウチ ノリフミ)

電話番号：03-3585-7578

F a x：03-3586-9782

E-mail：jifukyo@jifu.jp

U R L：<http://www.bpaj.or.jp>